

令和4年度

下川町教育の概要

下川町教育委員会

下川町民憲章

わたくしたちは、さく北の雄大な自然の中に生きる下川町民です。未来に希望をもち、農・林・鉱の資源を活用して、よりよい下川をつくることに努めましょう。

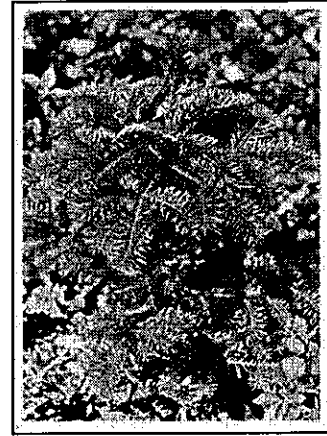
1. 心も、からだもすこやかに、あたたかい家庭をつくりましょう。
1. よい環境をつくり、青少年のつよく正しく育つまちにしましょう。
1. 自然を愛し、美しいまちづくりに努めましょう。
1. きまりを守り、みんな仲よく助け合い、明るいまちをつくりましょう。
1. 町の歴史を大切にし、文化の高い歴史をきずきましよう。

(昭和41年10月1日制定)



町花 (エゾリンドウ)

昭和52年12月23日制定



町木 (トドマツ)

昭和52年12月23日制定

下川町教育是

1. 北方生活に適応する、健康で明朗な町民
2. 正義を愛し、敬虔で、豊かな情操をもつ町民
3. 勤労を尊び、科学的に生活を高める町民
4. 知性に富み、北方生活文化の向上を図る町民
5. 責任を重んじ、協調心強く、郷土愛に燃える町民

目 次

1	令和4年度教育行政執行方針	1
2	下川町教育委員会事務局の機構と職員配置図	8
3	第2期下川町総合教育大綱（下川町教育推進計画）	
	（1）全体構造図	9
	（2）計画の体系図	10
4	学校教育 下川町学校教育のあらまし	
	（1）下川小学校	
	①学校経営	11
	②校務運営組織	13
	（2）下川中学校	
	①学校経営	14
	②校務運営組織	16
	（3）教育関係委員等の状況	
	①下川町教育委員会	17
	②下川町教育支援委員会	17
	③下川町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	17
	④下川町学校運営協議会	18
	⑤下川町いじめ問題対策連絡協議会	18
	⑥下川町いじめ問題対策専門委員会	18
5	社会教育	
	（1）令和4年度社会教育事業計画及び公民館運営事業計画	
	Ⅰ生涯学習	19
	Ⅱ生涯スポーツ	22
	Ⅲ芸術文化	23
	（2）令和4年度下川町公民館運営方針	25
	（3）社会教育関係各種委員の状況	
	①下川町社会教育委員及び下川町公民館運営審議会委員	26
	②下川町スポーツ推進委員	26
	③下川町文化財保護審議会委員	26
	④下川町視聴覚ライブラリー委員	26
	⑤下川町町民会館児童室運営委員及び放課後子どもプラン運営委員	27
	（4）令和4年度社会教育関係団体の状況	
	①各種団体連合会等	28

②その他社会教育関係団体	31
(5) 下川町の文化財	32
(6) 下川町社会教育関係表彰状況	
①旧表彰規則による表彰者	34
②下川町文化賞	34
③下川町特別町民荣誉賞	34
④下川町町民荣誉賞	34
⑤下川町特別スポーツ功劳賞	34
⑥下川町スポーツ功劳賞	35
⑦下川町特別スポーツ荣誉賞	35
⑧下川町スポーツ荣誉賞	35
⑨下川町スポーツ贡献賞	36
⑩下川町文化奨励賞	36
⑪下川町スポーツ奨励賞	36

1 令和4年度 教育行政執行方針

令和3年下川町議会定例会3月定例会議の開会にあたり、教育行政執行方針を申し上げ、議会並びに町民の皆様のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

今日、変異を続ける新型コロナウイルス感染症の拡大は、医療現場や経済活動への影響だけでなく、新たな生活様式や価値観の広がり、様々な事業・行事等に対する見直しなど、多方面に、いろいろな変化をもたらしております。

さらに今日の教育行政には、少子高齢化や人口減少及び高度情報化の進展だけでなく、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えた、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(E S D)と、続ける幸せだけでなく、変わる・新しい幸せを生む施策を推進していく必要があると考えております。

そこで、第6期下川町総合計画の将来像を達成するための7つのありたい姿の1つである「子どもたちの笑顔と未来世代の幸せを育むまち」をベースに、令和2年度に作成した下川町地域共育ビジョンとともに、第2期下川町総合教育大綱(下川町教育推進計画)の基本目標を実現していくために、令和4年度は、ウィズコロナ時代を見据えた施策に重点を置いて推進してまいります。

はじめに、小中学校教育の充実について申し上げます。

児童生徒が、ふるさと下川のよさを実感し、自分のよさや可能性を認識し、他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、生涯にわたって楽しく学び続けることができるよう、個性を生かし可能性を最大限に伸ばし、夢や希望をもち、これからの予測困難な時代を生き抜く力の育成に努めていくことが重要であります。

新学習指導要領においては、児童生徒に何ができるようになるのかが「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」、及び「学びに向かう力、人間性の涵養」の3つの柱で示されております。下川町では、これに地域の願いである「下川を愛する児童生徒」を加え、育成すべき4つの資質・能力を柱に、一般的な知・徳・体になる確かな学力、豊かな人間性、健やかな体の調和を図りながら、児童生徒に「生きる力」を育成してまいります。

一つ目に、学校の新しい生活様式を踏まえつつ、教職員がこれまでの働き方を見

直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにし、人間性や創造性を高めていくことで、学校が一丸となって誰一人取り残すことなく、全ての児童生徒の可能性を引き出す効果的な教育活動を推進してまいります。

これを実現していくために、道教委が作成した手引き「R o a d」を活用し、中核となるコアチームが、業務の効率と効果に焦点を合わせた改善を推し進めながら、自分たちの働き方を振り返り、考え、その思いを交流し、共有できる機会を設定し、全員が参画し協働しているという実感が得られるような教職員の組織づくりにつなげていきます。

さらに、I C T推進アドバイザーやI C T支援員により、I C Tに係る教職員の日常的な業務・学習支援の充実、配置した一人一台タブレットを授業で活用していただける学習環境の整備とともに、端末のフィルタリングソフトの導入によるセキュリティ強化により、教師が対面指導と遠隔・オンライン授業を使いこなすことで、児童生徒の学びを止めず保障できるようにしてまいります。

また、整備しているI C Tにより、学習履歴や生徒指導上のデータ等を利活用することで、教師の負担を軽減するとともに、I C T活用による成果や意欲的に学ぶ児童生徒の様子を積極的に公開してまいります。

二つ目に、「特別の教科 道徳」が道徳教育の要の時間として機能するよう、道徳的な価値を自分のこととして捉え、よく考え、議論するなど、指導方法の工夫改善を図ってまいります。また、相手の気持ちや考えを思いやり、自分と異なる個性を受け入れ、助け合うことができる心豊かな児童生徒を育成するために、学校の教育活動全体を通して、お互いの思いや考えを共有できる機会を充実してまいります。

さらに、生徒指導では、教師と児童生徒との信頼関係及び児童生徒同士の好ましい人間関係、つまり個性の違いを認め、尊重する関係をベースとして、学校全体で支持的風土を醸成していきます。とりわけ、いじめ防止の取組については、どの児童生徒にも、どの学校にも起こり得ることを踏まえ、道徳科や児童生徒同士の望ましい人間関係を醸成する学級経営などの特別活動を通して、どんな理由があってもいじめは絶対に許されることではないことを理解させるとともに、各学校が実施する定期的ないじめ調査や教育相談の実施により早期発見に努め、いじめの疑いがある場合には、組織的かつ速やかに対応するよう、各学校等への指導を徹底してまい

ります。

三つ目に、健やかな体づくりとしては、児童生徒の体力向上に向けて、全国体力・運動能力、運動習慣等調査などの客観的なデータを基に保健指導及び保健管理の充実に努めるとともに、自らが心身の健康を大切にすることに気付き、運動することの楽しさを実感し、望ましい生活習慣を身に付けさせることができる体育科や保健体育科の授業改善と学校の特色を生かした体力づくりを推進してまいります。

また、食に関する正しい知識と地産地消や望ましい食習慣の定着を図る食育の充実等につながる健康教育を推進してまいります。

不登校の児童生徒への支援については、学校や認定こども園こどものもり、保健福祉課などの関係機関と連携を図りながら個々の児童生徒に応じた組織的・計画的なきめ細やかな支援を行ってまいります。

児童生徒の安全・安心な教育環境の確保につきましても、交通安全教育や防犯教室による児童生徒自身の意識啓発に努めるとともに、危険予測能力や危機回避能力を身に付けさせてまいります。また、適宜、通学路の安全点検を実施するなど、保護者や関係機関、団体との連携を図りながら、児童生徒の安全確保に万全を期してまいります。

特別支援教育については、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うことが大切であります。そこで就学前から特別支援教育コーディネーターや特別支援教育相談員による学習面や生活面に配慮が必要な児童生徒の実態把握と、必要に応じ外部の専門家による指導助言を受けるとともに、小中学校に特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活を支援してまいります。加えて、特別支援教育連携協議会による研修会や子育て講演会などを通して、関係職員だけでなく一般町民の皆様も参加できる特別支援教育関連の今日的課題に対する研修会等の実施に努めてまいります。

特色ある教育活動としては、児童生徒が発達段階に応じて、ふるさと下川を想い、何に興味・関心をもつか考え、挑戦できる教育環境を整えながら実践しているところです。具体的には、身近な自然環境、歴史・伝統文化、地域産業など、地域の大人達から学ぶ機会を通じた教育活動を進めております。さらに今年度は、小学校3・4年生が社会科で学ぶ副読本「しもかわ」の内容を見直していきます。また、重要と

なるキャリア教育の育成については、地域や地元企業等との連携協力のもと、一人ひとりの興味・関心を見つける機会をつくり、多様な大人との対話を通じた取り組みや、地域をフィールドとした実践を小学校から高校まで一貫して実施し、自律した社会人に向けて必要となる資質・能力を育むとともに、SDGsの考え方を身に付ける取組を継続して実施してまいります。

すべての教育活動の土台となるコミュニケーション能力の育成については、児童生徒がお互いの考えや気持ちを認め合い、自分の思いや考えを気兼ねなく発信することができる心理的安全性を高めることができる集団づくりを行ってまいります。また、認定こども園こどものもりから小・中学校、高等学校において森林とのふれあいや林業体験などを実施し、系統的な森林環境教育を継続してまいります。

地域の教育力を活かした学校づくりの推進については、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）で、児童生徒の実態及び課題の共通認識を深め、また、地域学校協働活動の推進により、学校の教育活動と地域活動を繋げることで地域の魅力や課題に触れる機会が生まれ、多様な体験活動が創出されます。このように、児童生徒が自らやってみたいことに挑戦できる環境づくりを整備していくことや地域・学校・家庭が連携した場づくりを進めてまいります。

そこで今年度から小中学校連携による系統的・継続的な教育を行うため、下川町教育研究会が作成した令和4年度版「義務教育9年間でめざす姿」に、学校運営協議会が地域の願いを加えた新たな改訂版を策定し、学校と地域が児童生徒の発達段階に応じためざす子ども像を共有し、「下川町地域共育ビジョン」の具現化を図るとともに、児童生徒に「生きる力」を育成してまいります。

また、地域学校教育活動推進委員を派遣し、小中学校のクラブや部活動、学校行事等の教育活動と連携した地域学校協働活動を推進するとともに、小中学校の教職員の専門性を生かした授業の乗り入れを実施してまいります。

幼小の連携については、小学校入学当初において、幼児期に自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう情報の共有・連携を確保してまいります。

また、本年度から、保護者の義務教育に係る費用の軽減として、学校教材費等助成事業を行ってまいります。

さらに、施設整備事業として、中学校教員住宅整備事業を実施してまいります。

次に、下川商業高等学校への支援について申し上げます。

近年、上川北学区の中学校卒業生の減少などにより、生徒確保が非常に厳しい状況であることから、引き続き、下川商業高等学校と連携し「地域に開かれた魅力ある学校づくり」として、地域の特性を生かした特色ある教育活動を進めるため、課題研究授業などによる学校と地域との連携を支援する地域学校協働コーディネーターを派遣するとともに、新商品開発や販売実習会などの実践的なキャリア教育、入学促進のための支援及び部活動育成の支援を行うとともに、下川商業高等学校コミュニティ・スクール（学校運営協議会）との連携・協働を確保し、存続維持・発展に向けた振興策を進めてまいります。

また、大学等に進学する下川商業高等学校の卒業生への支援として就学資金助成事業を行ってまいります。

次に、生涯学習の振興について申し上げます。

生涯を通じた学びの支援による「人づくり」と「地域づくり」を進めるため、乳幼児期から高齢期までの生涯各期における学習活動の機会の提供と環境整備に努めるとともに、生涯学習に対する町民のニーズが多様化していることから、町民の自主学习と仲間づくりを進めるためマイプラン・マイスタディー事業を実施してまいります。

家庭教育においては、保護者が児童生徒の健やかな成長に必要な知識を学び、家庭の教育力向上に寄与するためのセミナーや体験講座などの学習機会を提供するとともに、親子の絆を深める取組を実施してまいります。児童室においては、親子が安全で安心してふれあえる場を提供するとともに、放課後児童の安全と居場所を確保してまいります。

青少年教育においては、人間形成の基礎がつくられる最も大切な時期であり、地域・家庭・学校が連携を深め、学校外で良好な教育環境を構築し実践していく必要があります。そこで、継続的・計画的に実施している小中学生対象のキッズスクール等による各種体験活動の拡充・充実を図ります。また、本年度から、放課後や休日などに中高生が自分の興味のあることを集中して学んだり、様々な大人と出会い多様な価値観に触れたりする機会をつくりだす場として「中高生の居場所づくり事業」

を実施してまいります。

高齢者教育においては、ウィズコロナ時代を見据え、各種交流会や高齢者学級などの内容面を見直しながら提供するとともに、高齢者がもつ知識、技能や経験を活かし、健康で生きがいのある充実した生活を送られるよう努めてまいります。

図書室においては、日常の暮らしに役立ち、課題解決につながる図書資料の充実を図るとともに、読書を通じた主体的な生涯学習や活動を支援し、親しまれる場づくりを進めてまいります。また、読み聞かせや読書イベントなどにより、児童生徒が本に親しむきっかけづくりや親子のふれあいを推進してまいります。

次に、生涯スポーツの振興であります。

生涯スポーツは、健康の保持増進やレクリエーションを目的として、いつでも、誰でも、どこでも気軽にできるものですが、コロナ禍においては、感染症対策として外出自粛などにより生活習慣等への影響が懸念されております。そこで今年度は、一人ひとりの基本的感染症対策やスポーツ・イベント等における感染症対策など、新しい生活様式に沿って、年齢や体力に応じ、安心して、気軽にスポーツに取り組んでいただけるスポーツ教室等を開催してまいります。

競技スポーツにおいては、スポーツ協会加盟団体やスポーツ少年団、中高の部活動に対し活動への支援を行うとともに、ウィズコロナ時代を見据え、運営者側として安心して参加していただける各種競技大会の開催などにより、保護者の負担軽減や競技力向上だけでなく、青少年の健全育成に努めてまいります。

本町のスポーツ文化であるノルディックスキー競技においては、全道・全国・世界大会に出場し活躍している選手を輩出することで、町民に感動と勇気と可能性をもたらしていることから、今後におきましても幼少の裾野を広げる活動とともに、専門指導員を中心に、幼小中高一貫指導を継続し、世界を目指す選手の育成強化を推進してまいります。

次に、芸術・文化の振興であります。

心豊かで活力ある地域づくりを実現するために、ウィズコロナ時代を見据え、町民による自主的・創造的な芸術・文化活動を支援するとともに、優れた芸術文化に接する機会の提供や文化団体を含め町民参加型の事業を実施してまいります。

文化財保護活用としては、地域の歴史や伝統文化を後世に伝えるため、積極的な

伝承活動が行われております無形文化財である「上名寄郷土芸能」を永く後世に伝えるために支援するとともに、多くの町民が触れる機会の充実を図ってまいります。また、郷土資料については、データベースを基に台帳を作成し管理・運営をしているところですが、常設展示・企画展を中心とする「ふるさと交流館」、中型・大型の収蔵品を公開する「札天山収蔵館」、公開しきれない郷土資料を保管している「旧菱光(きゅうりょうこう)小学校」について、管理・運営方法を見直してまいります。

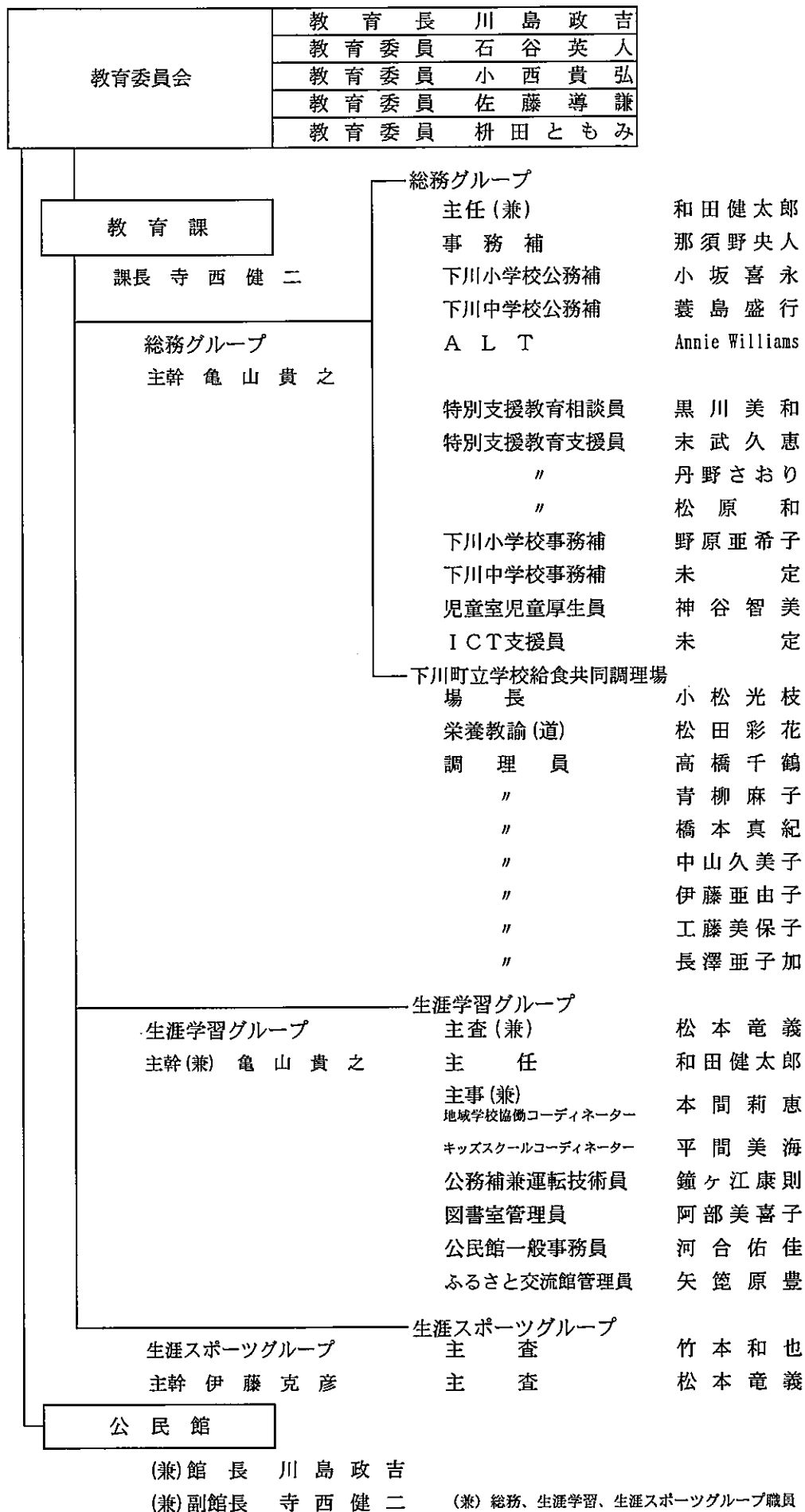
社会教育施設やスポーツ施設においては、年間を通した利用状況と関係団体や利用者等の意見等を把握し、今後の管理運営や整備等について検討を進めるとともに、老朽化の進んだ施設もあることから改修を行い安全な利用に支障をきたす箇所については、緊急性があるものとして修繕を実施してまいります。

以上、教育行政執行方針の概要を申し上げましたが、先行き不透明な「予測困難な時代」を乗り越えこえていくため、生涯を通して学び、考え、様々な困難に対応しながら、いくつになっても自分のよさや可能性を信じ、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、夢の実現のために挑戦し、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となる支援を継続することが、大切であると考えています。

本年度におきましても、町長部局と緊密に連携しながら、学校における新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図り、創意ある教育行政を執行し、使命を果たすべく、学校・家庭・地域・行政の連携の下で、本町教育行政の充実・発展に取り組んでまいります。

今後とも、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。下川町教育行政執行方針とさせていただきます。

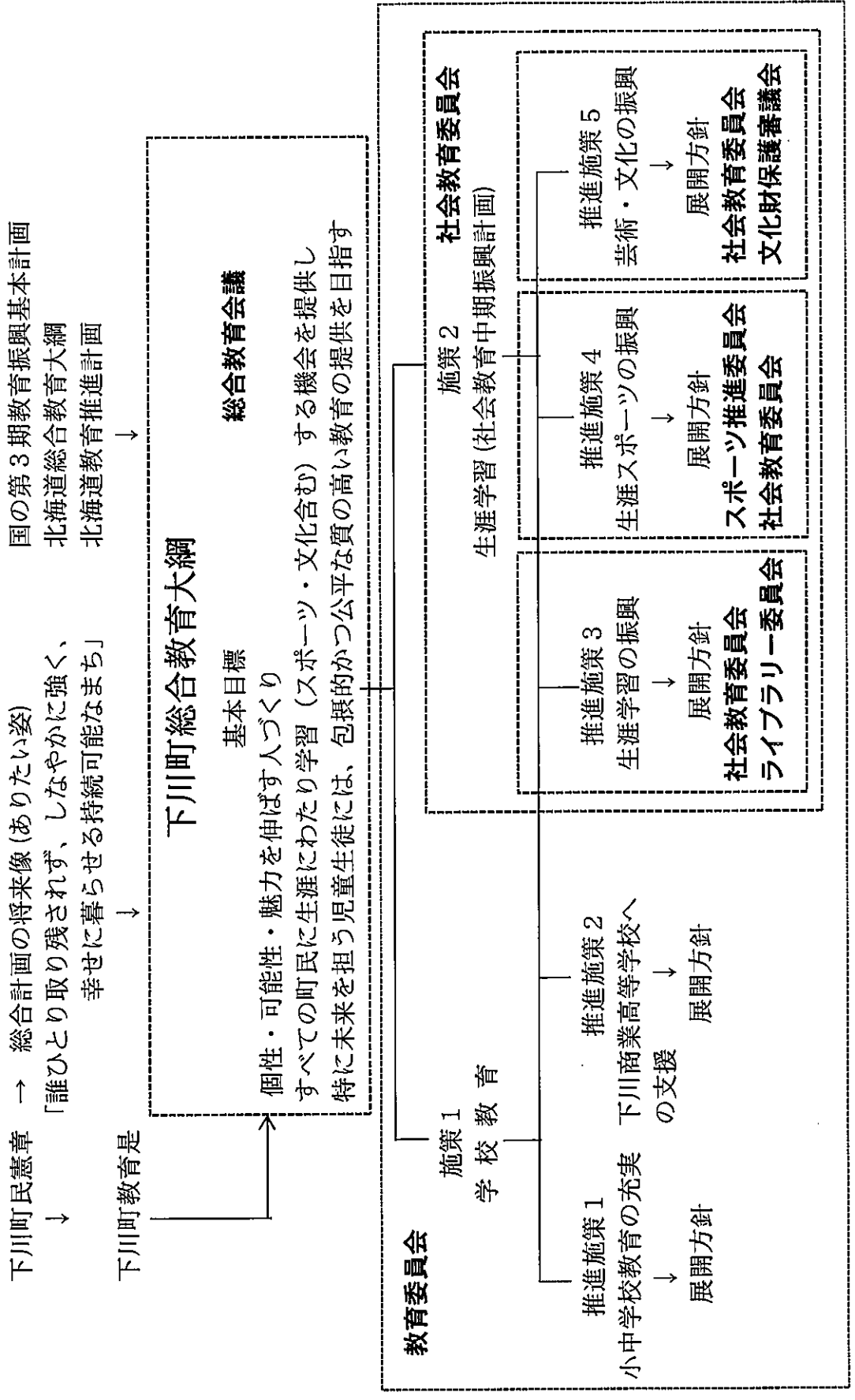
2 下川町教育委員会事務局の機構と職員配置図



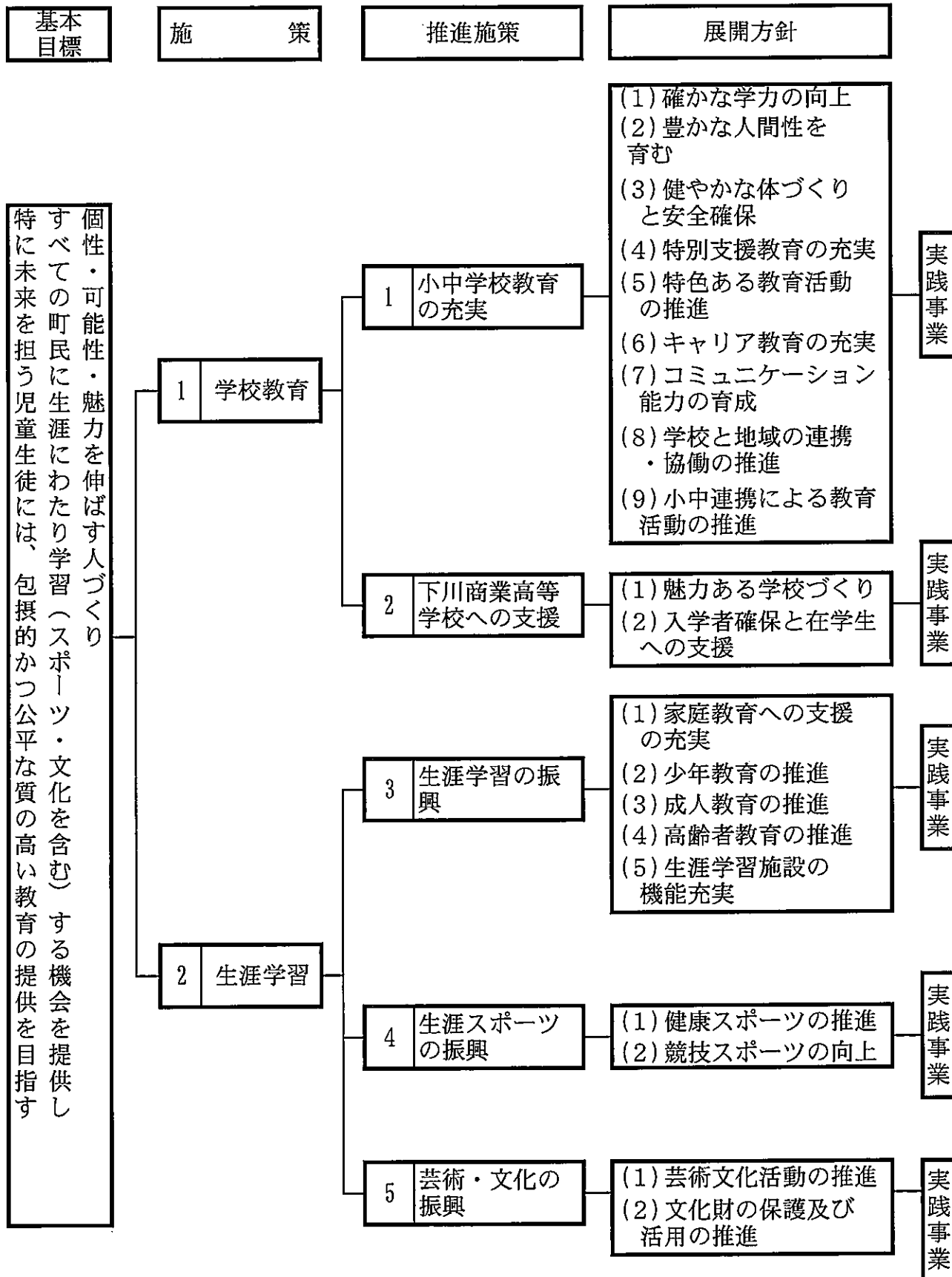
3 第2期下川町総合教育大綱（下川町教育推進計画）

(1) 全体構造図

全体構造図（平成31年現在）



(2) 計画の体系図 (平成31年現在)



4 学校教育 下川町学校教育のあらまし

(1) 下川小学校 (下川町西町40番地)

① 学校経営

(R4.5.1現在)

校長	井川 健	児童数	学年	1	2	3	4	5	6	特支	合計
教頭	佐藤 仁彦		男	7	9	9	9	3	12	9	58
学級数	10 (うち、特支学級4)		女	10	11	9	10	7	10	2	59
			計	17	20	18	19	10	22	11	117
校訓 ・明るい子ども (S48年制定) ・考える子ども ・がんばる子ども			学校及び児童の実態 本校は、市街地の西側に位置し、開校115年を迎えた歴史と伝統のある学校である。昭和47年に校舎建設後、平成6年度に大規模改修、平成25年度に内装木質化及び地域熱供給施設システム導入を行っている。普通学級6学級、特別支援学級4学級の編成で、クラス20名前後の教育環境にある小規模校である。児童は、理想的な学級人数構成と恵まれた学習環境や自然環境の中で笑顔に溢れ明るく生き生き生活しており、挨拶運動の先頭に立つ児童会役員やジャンプに果敢に挑戦する児童、森林の中で静かに考える児童など、笑顔の学習活動が学校生活に意欲と喜びを与えている。学力に関しては、学年差や個人差が大きく、更なる基礎学力の確実な定着及び、諸事情により遅れて登校する児童が数名おり、個に応じた支援が必要である。								
学校の教育目標											
「今を確かに生き、未来にはばたく子どもを育てる」											
めざす学校像											
<input type="checkbox"/> 学びがいのある学校【子ども】 <input type="checkbox"/> 働きがいのある学校【教員】 <input type="checkbox"/> 頼りがいのある学校【保護者】 <input type="checkbox"/> 親しみのある学校【地域】											
年 度 の 重 点											
「自分の居場所と学びをを実感する子」どの子にも『笑顔』と『自信』を!											
学 校 経 営 の 基 本 方 針											
「 共 に 汗 を 」											
<経営の基本> ①「知・徳・体」のバランスのとれた人間性豊かな生きる力の育成を目指した本校教育目標の具現化に努める。 ②「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」の3つの資質能力の育成に向けた「目指す子ども像」を保護者、地域と共有し、成長を共に喜び合える関係づくりに努める。 ③教職員の実践的指導力やチーム貢献力の向上を図り、重点課題を共有しながら学校力の向上に努める。											
<目指す学校像> 【子どもにとって】 「学びがいのある学校」 【教師にとって】 「働きがいのある学校」 【保護者にとって】 「頼りがいのある学校」 【地域にとって】 「親しみのある学校」											

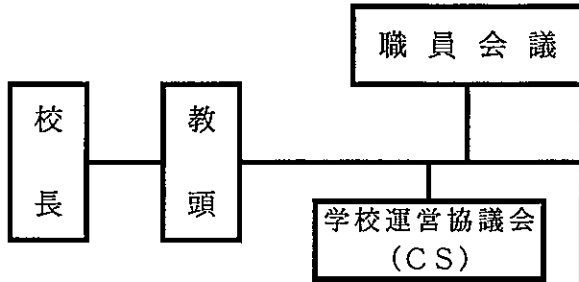
指 導 の 重 点	
各教科	<p>◎ 各教科における基礎・基本の習得と活用力の向上</p> <p>ア 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質・能力の育成に向けた学習過程の構想</p> <p>イ 「習得」「活用」「探求」の学びを意識した単元構成</p> <p>ウ 文章理解と文章表現の能力の習得を目指す全校的な授業改善</p> <p>エ 一人一人の学びを支える集団づくり（学習のつまずきとフォローアップ）</p> <p>オ 家庭と連携した学習習慣の確立に向けた具体策の実施（家庭学習計画の推進）</p> <p>カ 「例年通りバージョン変換」に終わらない指導要領に準拠した社会科副読本の作成</p>
道徳	<p>◎ 豊かな心を育む道徳教育の充実</p> <p>ア 考え、議論する問題解決的な道徳授業の工夫（重点：A：【正直、誠実】【節度、節制】）</p> <p>イ いじめの根絶に向けた「人権」教育の推進</p> <p>ウ 自分や友達のよさを実感できる場の設定と充実</p> <p>エ 学校行事の取組を通じた思いやり、連帯感、協力性の育成</p>
特別支援教育	<p>◎ 一人一人のニーズに応じた発達を促す特別支援教育の充実</p> <p>ア 教育的ニーズに適切に対応するための担任間及び特別支援教育相談員や支援員との協働的な校内の支援体制の確立</p> <p>イ 指導内容・指導方法の工夫と自立と社会参加を目指した指導の実施</p> <p>ウ 特別支援学級と通常学級との交流及び共同学習の推進と連携の強化</p> <p>エ 特別支援学校、名寄市立大学、各種機関との教育相談や医療機関との連携</p> <p>オ 児童一人一人のよさや進歩の状況を的確に把握する評価の工夫</p>
外国語活動	<p>◎ 新学習指導要領に沿った外国語・外国語活動の充実</p> <p>ア 外国語活動と外国語科の段階的・系統的な内容理解と指導法の共有（校内研修等）</p> <p>イ 指導体制の工夫や教材の活用・蓄積（ALTとの連携）</p> <p>ウ 中学校英語への接続を意識した具体的な連携の推進（乗り入れ授業等）</p>
学習の時間	<p>◎ 自ら学び、自ら考える「総合的な学習の時間」の充実</p> <p>ア 系統性と教科横断的な内容及び育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成</p> <p>イ ESD（持続可能な開発のための教育）を意識した下川学的学習</p> <p>ウ 地域と触れあい、地域に学ぶ、体験的な活動を大切にしたいふるさと教育の充実</p> <p>エ 学びのコーディネーターによる地域資源や専門的な人材の活用、学習の交流等の充実</p>
特別活動	<p>◎ 自主的、実践的な態度と社会性を育む特別活動の充実</p> <p>ア 社会性を育む指導の工夫と多様な集団活動の充実（異学年交流及び縦割り班活動等）</p> <p>イ 子どもの社会性や集団への所属感を高める活動の充実（学級活動、学校行事等）</p> <p>ウ 自治的能力、自発的活動の工夫と充実（児童会活動、中学校との連携等）</p> <p>エ 地域の外部講師を活用したクラブ活動の充実</p>
生徒指導	<p>◎ 一人一人に寄り添う生徒指導の充実</p> <p>ア 子どもへの共感的理解、教育相談の充実と校内指導体制の確立（個や学級の実態の客観的把握に基づく対応）</p> <p>イ いじめ・不登校等、生徒指導上の問題に対する組織的で適切な対応</p> <p>ウ 心の居場所をつくる学級経営の推進</p> <p>エ 基本的な生活習慣の確立や規範意識の高揚</p> <p>オ 生徒指導事例研修等、生徒指導にかかわる研修の充実</p>
キャリア教育	<p>◎ 自己実現を図る資質や能力を育むキャリア教育の推進</p> <p>ア 子どものキャリア発達の段階に応じた指導の充実とキャリアパスポートの活用</p> <p>イ 自らの役割や責任を果たし、集団の中で自己を生かす指導の工夫</p> <p>ウ ほっとを活用し、子どものよさや可能性を伸ばす自己評価の工夫</p>
コミュニケーション能力	<p>◎ 言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成</p> <p>ア 豊かな語彙を獲得するための指導の工夫と環境づくり</p> <p>イ 事実等を正確に理解し、理論的で的確な表現での交流</p> <p>ウ お互いの考えを伝え合い、自分の考えや集団の考えを発展させる場面設定</p>
体育・健康	<p>◎ 生命を尊び、健やかな体を育む健康・安全教育の充実</p> <p>ア 自分の体力や技能を把握して進んで運動に親しむための環境の整備</p> <p>イ 体力テスト等による体力、運動能力の実態把握と結果の活用</p> <p>ウ 「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つの安全教育にかかわる保護者や地域と連携した体制整備</p> <p>エ 「食に関する指導」の全体計画に基づく望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進</p> <p>オ 保護者と連携し、お弁当の対応も可とする生活習慣の改善への取組（啓発、協力要請）</p>
研修活動	<p>◎ 指導力の向上を図る研修活動の充実</p> <p>ア ICT活用（プログラミング教育を含む）におけるICT支援員や未来の学びコーディネーターの支援協力と授業への活用促進</p> <p>イ 道徳教育、外国語教育、ESD(SDGs)等の実践的研修や授業交流の推進</p> <p>ウ 各分掌（学習指導・生徒指導・健康安全指導等）と連携した校内研修（ミニ研修等）の推進</p> <p>エ 他機関との連携、上教研の活動及び各種研修会への積極的な参加</p>

② 校務運営組織

校長 井川 健彦
 教頭 佐藤 仁彦
 教務主任 尾崎 智行
 保健体育部長 松尾 裕之
 生徒指導部長 中谷 愛

事務主幹 伊藤 敏光
 公務補 小坂 喜永

○校務分掌及び担当



特別委員会他
○教育課程編成委員会 ○防災対策委員会 ○生徒指導委員会 ○研究推進委員会 <関係機関と連携する特別委員会> ○いじめ防止等対策委員会 ○教育支援委員会 ○学校保健委員会 <推進教師> 特別支援教育コーディネーター ～高橋亜紀子 ヴァイス・コーディネーター ～水口 愛弓 校内研究推進教師～久保田基文 道徳教育推進教師～水口 愛弓 外国語・外国語活動推進教師～伊藤 元太 ICT活用推進教師～佐竹 秀平 ～伊藤 元太 初任者指導教師～尾崎智行 地域連携推進教師～佐竹秀平 CS委員～尾崎智行

分掌	氏名
教務部	○尾崎 智行 久保田 基文・高橋 亜紀子 木村 叶実・水口 愛弓 伊藤 元太・佐竹 秀平
生徒指導部	○中谷 愛 若井 旭・大西 克典 小倉 三桜雪
保健体育部	○松尾 裕之 奥山 大河・中嶋 崇喜 佐々木 浩美・松田 彩花
事務部	○伊藤敏光 (小坂喜永) (野原亜希子)

1年1組	久保田基文
2年1組	中谷 愛
3年1組	大西 克典
4年1組	松尾 裕之
5年1組	若井 旭
6年1組	佐竹 秀平
あすなる (知的)	高橋 亜紀子
たんぼぼ (言語)	中嶋 崇喜
りんどう① (情緒)	伊藤 元太
りんどう② (情緒)	水口 愛弓
りんどう③ (情緒)	小倉 三桜雪
特別支援フリー	奥山 大河
教務主任	尾崎 智行
TT:指導工夫改善	木村 叶実
養護教諭	佐々木 浩美
栄養教諭	松田 彩花
事務職員	伊藤 敏光
特別支援教育相談員	黒川 美和
特別支援学級支援員	松原 和
特別支援学級支援員	末武 久恵
A L T	Annie Williams
地域学校協働コーディネーター	本間 莉恵
地域学校協働活動推進員	田中 由紀子
公務補	小坂 喜永
事務補助	野原 亜希子

渉外	PTA (事務局)	事務局長 : 教頭 事務局次長 : 教務主任 会計 : 事務職員 顧問 : 校長
	町P連	副会長 : 校長 庶務 : 教頭
	町教研 (へき複部)	会長 (兼へき複連委員長) : 校長 事務局長 (兼へき複連事務局長) : 教頭

(2) 下川中学校

(下川町南町417番地)

① 学校経営

(R4.5.1現在)

校長	桑内寿則	生徒数	学年	1	2	3	特支	合計
教頭	立花武人		男	12	11	11	3	37
学級数	7 (うち、特支学級 4)		女	8	16	8	2	34
			計	20	27	19	5	71

校訓 創造 敬愛 (S53年制定)	学校及び生徒の実態
学校の教育目標	<p>本校は、商店街を中心とする町の南側に位置し、開校76周年を迎える歴史と伝統のある学校であり、卒業生も7,705名(令和3年度末現在)に上っている。昭和53年に町内4中学校統合を機に現在地に校舎建設後、平成12年度に大規模改修を行い、広く明るい学習空間と生活スペースの中で、教育活動が進められている。生徒は、基本的な生活習慣が身につけており、明朗快活で活動的、何事にも興味関心が強く、日常の生活行動も安定している。一方、幼少時からの人間関係の固定化やそれに伴う考え方・視野の狭さが感じられる側面もある。指導の課題としては、①基礎的・基本的学習内容の定着②家庭学習の習慣化③自己理解と思いやり④将来を見通し主体的に努力する姿勢があげられる。</p>
◆基本目標 豊かな知性を持ち たくましい意志で やり抜く生徒	
めざす生徒像	
<p>【知】 よく考え、正しく判断し、創意工夫する生徒</p> <p>【情】 他人の立場を理解し、進んで協力する心豊かな生徒</p> <p>【意】 自分の言動に責任を持ち、最後まで成しとげる生徒</p> <p>【体】 自他の生命を尊び、自らを鍛える健康な生徒</p>	

学校経営の基本方針
<p>① 学校経営目標の明確化と学校評価結果の具現化</p> <p>② トップダウンとボトムアップの調和</p> <p>③ CSの機能を活用し、新学習指導要領の趣旨に基づいた、体験を重視した特色ある学校づくり</p>

学校経営の重点
<p>(1) 学力向上</p> <p>○基礎・基本の定着</p> <p>○GIGAスクールプラン～ステップ2・3</p> <p>(2) 心に寄り添う生徒指導</p> <p>○基本的な生活習慣の定着(情報端末の使用、家庭学習習慣)</p> <p>○自他を尊重する心の涵養</p> <p>(3) キャリア教育を基本とした『下中グランドデザイン』の実践</p> <p>○将来の生き方を見据えた学習・生活習慣</p> <p>(4) 小中連携</p> <p>○教育課程の9か年の連続性</p> <p>(5) 家庭・地域と連携した下川を愛する生徒の育成</p> <p>○ふるさとを思いふるさとに貢献する姿勢の育成</p>

年度の重点目標
●重点目標 「友と語り 考え よりよい思考を導く生徒を育成する」 ～ 協働する生徒

重点目標具現化の方策
<p>(1) 新学習指導要領に対応した教育課程の編成</p> <p>① 社会に開かれた教育課程の実現</p> <p>② 全教科・全領域で取り組むESD(持続可能な開発のための教育)</p> <p>(2) 育成すべき資質・能力の3つの柱を明確にした学習指導</p> <p>① 協働を重視した、主体的・対話的で深い学びをさせる授業</p> <p>② 誰一人とり残さない、学びの質に着目した指導方法の工夫</p> <p>③ 小中連携した学習規律の徹底</p> <p>④ 小中連携した学習展開の実施(課題→見通し→思考→まとめ→練習→振り返り)</p> <p>⑤ 言語能力、情報活用能力の確実な育成</p> <p>(3) 基本的な生活習慣の確立と規範意識を育てる生徒指導の充実</p> <p>① 一人一人に対するきめ細かな心配りと心に寄り添う指導</p> <p>② 学校全体で醸成する支持的風土</p> <p>③ 生徒指導部長を要とした組織的で多様な指導体制</p> <p>④ いじめ・不登校の未然防止と早期対応の充実</p> <p>⑤ 保護者との丁寧な連携</p> <p>⑥ 「生活リズムチェックシート」を活用した規則正しい生活の確立</p>

重点目標具現化の方策

- (4) 望ましい勤労観や職業観を育てるキャリア教育の充実
 - ① 基礎的・汎用的能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の4能力の育成
 - ② 職業体験活動と特別活動を通じた、社会に参画する力の育成
 - ③ 全ての教育活動を通じてキャリア発達
- (5) 道徳性を養い実践力を高める道徳教育
 - ① 道徳科における自己内対話を重視した道徳的価値の学習
 - ② 教育活動全般における道徳的実践力の向上
- (6) 自主性を育成し、多様な他者と協働して社会性を身につける特別活動
 - ① 自治的な活動の充実
 - ② 今日の課題を考える学習（薬物乱用防止、情報リテラシー、性教育、防災・安全、食育、地域貢献等）
 - ③ 宿泊活動による社会性の涵養
- (7) 教科横断的な学習の典型としての総合的な学習の時間
 - ① 育成を目指す資質・能力を明確にした探求的学び
 - ② 小学校から連続した、地域の教育力を活用した効果的な学習過程
 - ・下川町が掲げる森林環境教育の実現
 - ・教科等を学ぶ本質的な意義を考えさせるキャリア教育
 - ・地域を知り地域の未来を考えさせるふるさと教育
- (8) たくましく健康な心身を育てる健康・安全教育
 - ① 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を活用した健康的な生活指導
 - ② 安心・安全に配慮した日常の学校生活
 - ③ 危機予測能力、危機回避能力の育成
 - ④ 事故や災害遭遇時に適切な行動ができる安全対応能力の育成
- (9) 特別支援教育の基本的な考え方に基づく配慮 =だれ一人取り残さない教育：SDGsの包摂性
 - ① 一人一人のニーズに応じた合理的配慮
 - ② 教育のユニバーサルデザイン化～視覚的に理解させる授業デザインと教育活動
 - ③ 個別の指導計画・支援計画に基づく個に応じた指導
 - ④ 「校内研修プログラム」「実践事例集」（道教委）を活用した職員研修
- (10) 指導力向上を目指す校内研修の充実
 - ① 理論と実践のバランスをとり、実効性のある校内研修
 - ② 指導力向上のための校外研修への積極的な参加と研修内容の還元
- (11) 9か年を見通した小中連携
 - ① 幼小中高が連携した研修会や参観日の交流
 - ② 「義務教育9年間でめざす姿」に基づく小中連携
- (12) 情報発信・情報公開 =個人情報保護の観点に立った発信と公開
 - ① 「学校だより」「学級・学年通信」等を通じた情報発信
 - ② 保護者の理解と協力による校務のデジタル化、公表の工夫
 - ③ 一斉メールによる保護者連絡の設定

教育活動推進の重点を支える体制づくり

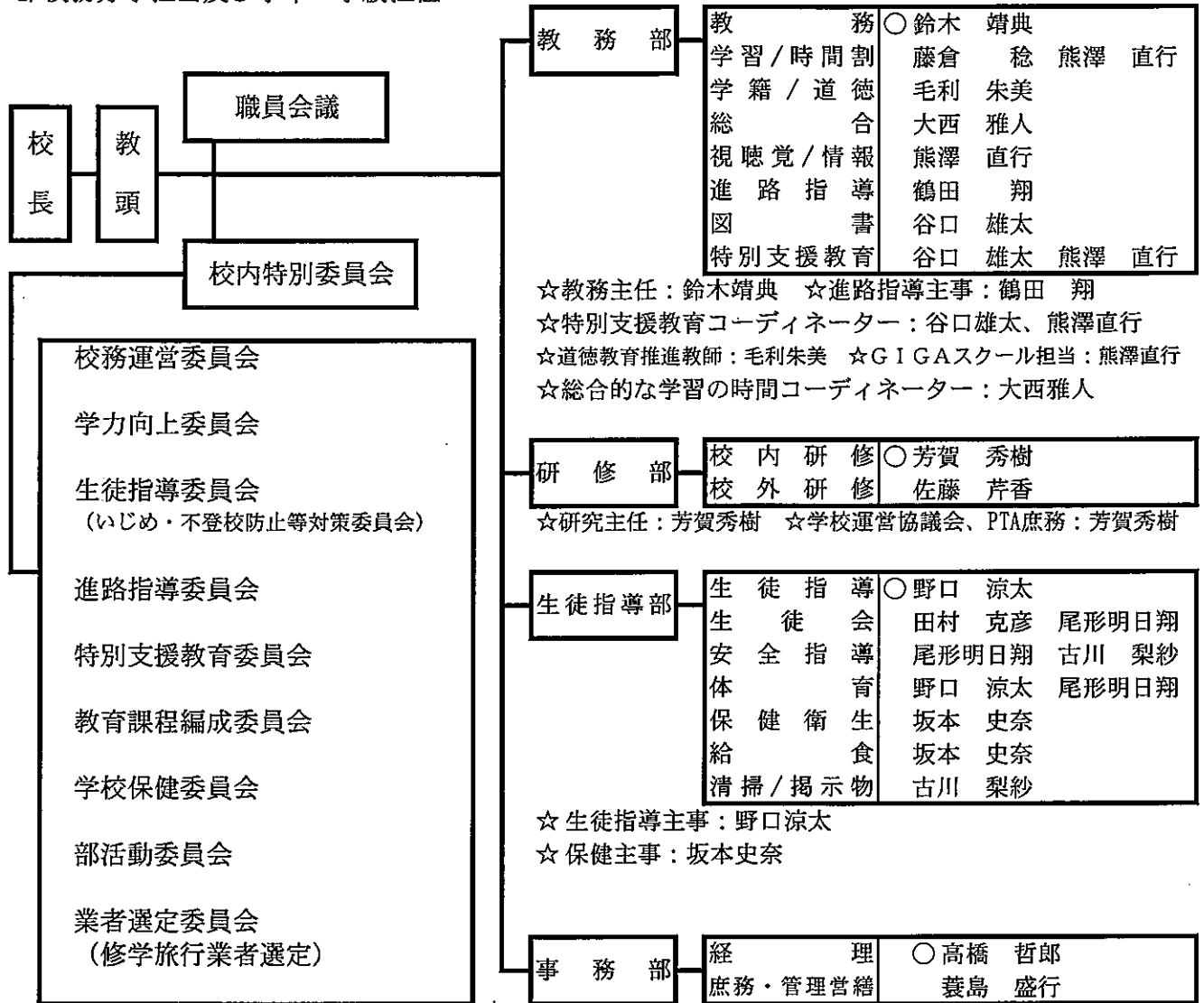
- (1) 日常的な報告・連絡・相談の徹底
 - ① 連絡→相談→実行→報告
- (2) 全ての情報共有と共通理解・共通指導、チェック機能の充実
 - ① 全生徒に対し全員が担任である意識
 - ② 複数名での点検
- (3) 学年会議・分掌会議・校務運営委員会の定例化（教頭と部長を要とした指導体制）
 - ① スクールカレンダー、月予定表への明記
 - ② 会議時間の確保（教務部による時間割の工夫）
 - ③ 協働体制の構築～学年代表・分掌部長のリーダーシップによる学校運営体制の強化
- (4) 特別委員会の活性化（教頭・代表を要とした指導体制）
 - ① 組織的に取り組む校務
- (5) 職員会議の効率化
 - ① 学年会議・分掌会議における議案の事前検討
- (6) 日報の効率的な活用
 - ① 1週間を見通した連絡、打合せの実施
- (7) 働き方改革の推進「北海道アクション・プラン」「下川町アクション・プラン」の実現
 - ① 業務内容の精選、必要十分な業務の意識化
 - ② 在校時間の記録化と集計（「出退勤管理ちゃん」の活用）
 - ③ 町教育委員会の設定に基づく学校閉庁日の実施
 - ④ 「令和4年度下川中学校部活動方針」に基づく部活動運営
 - ⑤ 少年団や地域の指導者と連携した部活動運営

② 校務運営組織

1) 職員構成

校長	長頭	桑立	内花	寿武	則人	保健	主事	坂本	史奈
教務主任	頭	鈴木	木口	靖涼	典太	養護	教諭	高橋	史哲
生徒指導主事	主任	野口	鶴田	涼太	翔	事務	職員	盛行	奈郎
進路指導主事	主事	鶴田	翔	涼太	典太	公務	補	島	行

2) 校務分掌担当及び学年・学級担任



事務職員	高橋 哲郎
公務補	葦島 盛行
支援員	丹野さおり
外国語指導助手	Annie Williams
地域学校協働コーディネーター	本間 莉恵
相談員	黒川 美和
スクールカウンセラー	草浦 祐美

1年A組		大西 雅人
1年B組	(情緒)	熊澤 直行
1年C組	(言語)	古川 梨紗
1年副担		田村 克彦
1年代表		○芳賀 秀樹
2年A組		毛利 朱美
2年B組	(知的)	藤倉 稔
2年副担		谷口 雄太
2年代表		○野口 涼太
養護教諭		坂本 史奈
3年A組		鶴田 翔
3年B組	(肢体)	佐藤 芹香
3年副担		尾形明日翔
3年代表		○鈴木 靖典

(3) 教育関係委員等の状況

①下川町教育委員会

区 分	氏 名	任 期
教 育 長	川 島 政 吉	R 3 . 7 . 1 ~ R 6 . 6 . 30
委 員	石 谷 英 人	R 2 . 10 . 1 ~ R 6 . 9 . 30
委 員	小 西 貴 弘	R 元 . 10 . 1 ~ R 5 . 9 . 30
委 員	佐 藤 導 謙	R 3 . 10 . 1 ~ R 7 . 9 . 30
委 員	枡 田 ともみ	H 30 . 7 . 1 ~ R 4 . 9 . 30

②下川町教育支援委員会

区 分	氏 名	所 属
会 長	筒 淵 忠 雄	下川町民生委員児童委員協議会
副 会 長	山 崎 春 日	下川町民生員児童委員協議会主任児童委員
委 員	桑 内 寿 則	下川中学校校長
”	井 川 健	下川小学校校長
”	尾 崎 智 行	下川小学校教諭
”	高 橋 亜 紀 子	”
”	鈴 木 靖 典	下川中学校教諭
”	熊 澤 直 行	”
”	古 屋 い づ み	認定こども園園長
”	蓑 島 美 奈 子	保健福祉課保健師

任 期 : R3. 4. 1 ~ R5. 3. 31

③下川町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

職 名	氏 名	所 属	担 当 学 校
学 校 医	片 野 英 俊	町立下川病院院長	下川小・下川中
”	丸 山 直 紀	町立下川病院副院長	下川小・下川中
学 校 歯 科 医	末 次 博	吉田病院歯科院長	下川小・下川中
学 校 歯 科 医	井 上 勉	吉田病院歯科医	下川小・下川中
学 校 歯 科 医	大 野 多 美 子	吉田病院歯科医	下川小・下川中
学 校 歯 科 医	先 川 信	吉田病院歯科医	下川小・下川中
学 校 薬 剤 師	西 澤 百 奈	(株)ナカジマ薬局	下川小・下川中

任 期 : R4. 4. 1 ~ R5. 3. 31

④下川町学校運営協議会

区分	部 会	氏 名	所 属
会 長	小 学 校 部 会	部 会 長	田 中 由 紀 子 りくらしネット 代表 旧共育ビジョン委員
		副 部 会 長	矢 内 啓 太 下川小学校PTA会長
			加 藤 哲 雄 元町公区長
			尾 崎 智 行 下川小学校教諭
			瀬 川 聖 子 下川町社会教育委員
			水 間 秀 文 下川町民生委員児童委員協議会
			高 橋 和 之 下川建設協会副会長
			立 花 祐 美 子 タウンプロモーション推進部 旧共育ビジョン委員
副 会 長	中 学 校 部 会	部 会 長	麻 生 翼 NPO法人森の生活 代表 旧共育ビジョン委員
		副 部 会 長	加 藤 準 下川中学校PTA会長
			森 清 次 下川町社会教育委員
			芳 賀 秀 樹 下川中学校教諭
			堺 修 一 末広町公区長
			小 野 直 下川町民生委員児童委員協議会
			桜 木 誠 商工会事務局長
			山 本 大 三 旧共育ビジョン委員

任 期 : R3. 4. 1 ~ R5. 3. 31

⑤下川町いじめ問題対策連絡協議会

区 分	氏 名	所 属
会 長	谷 一 之	下川町長
職 務 代 理	川 島 政 吉	下川町教育委員会教育長
	井 川 健	下川小学校長
	桑 内 寿 則	下川中学校長
	矢 内 啓 太	下川小学校PTA会長
	加 藤 準	下川中学校PTA会長
	佐々木 昌 二	名寄警察署下川駐在所長
	加 藤 哲 雄	下川町交通安全防犯協会長
	未 定	名寄警察署少年補導員連絡協議会下川支部
	筒 淵 忠 雄	下川町民生委員児童委員協議会会長
	市 田 尚 之	保健福祉課長
	高 橋 祐 二	税務住民課長

任 期 : R3. 4. 1 ~ R5. 3. 31

⑥下川町いじめ問題対策専門委員会

区 分	氏 名	所 属
	調 整 中	旭川弁護士会
	野 口 剛 志	名寄市立総合病院心療内科・精神科 診療部長
	矢 口 明	名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科 准教授
	佐 藤 喜 代 枝	元カウセリングルーム ベア 室長

任 期 : R4. 4. 1 ~ R6. 3. 31

5 社会教育

- (1) 令和4年度社会教育事業計画及び公民館運営事業計画
(公民館・青少年健全育成推進協議会・放課後子ども教室含む)

I 生涯学習

① 家庭教育

【推進目標】

○親子の絆を深め、子どもの健全な心と身体を育てる家庭教育の充実

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 ブックスタート	偶数月	総合福祉センター	公民館	年6回 6~7か月乳児相談時に実施
2 ブックスタート フォローアップ	4月、5月、9 月、11月、1月	総合福祉センター	公民館	年5回 1歳6か月児・3歳児健診終了 後に実施
3 親子対象公民館講座	8月中旬	公民館等	公民館	
4 家庭教育セミナー	9月中旬		公民館	
5 親子劇場	10月中旬	児童室他	教育委員会 公民館 青推協	親子対象
6 下川町父母と先生の会連合 会	通年	小・中学校	教育委員会	2団体 活動支援
7 親子遊び	通年	町民会館児童室	教育委員会	就学前児童の親子遊びの場

② 少年教育

【推進目標】

○家庭・学校・地域社会が一体となり、子どもたちの健やかな心身の成長を図り、自らが未来に希望の持てる意欲に満ちた少年の育成

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 こどもブックフェスタ	5月25日~31日	町民会館図書室	公民館 キッズスクール	子ども図書コーナー設置、絵本読み 聞かせ、おすすめ本コーナー、お仕 事体験
2 社会を明るくする運動提灯 行列パレード	7月15日	町内	下川町社会を 明るくする運 動実施委員会	
3 少年の主張 上川総合振興 局地区大会	7月15日	上川合同庁舎	上川総合振興 局・上川教育 局	参考：中学生1名代表選出（今年度 はビデオ審査）
4 夏の非行防止等チラシ配布	7月下旬	全児童生徒配布 新聞折込	青推協	非行防止チラシ：新聞折込、小・中 学校、下商高に配付
5 夏休みラジオ体操inしもかわ	8月1日~ 8月12日予定	安原公園	青推協	6:30のラジオ放送に合わせて実施
6 子ども自然体験事業	8月中旬		公民館	野外体験活動
7 町内巡視	8月8日 8月下旬	町内	青推協	下川神社祭 うどんまつり
8 ジュニアリーダーコース	8月上旬	大雪青少年交流の 家	北海道教育庁	
9 上川地区地域子ども会交流 会	11月下旬	上富良野町	上子連	

事業名		時期	場所	主催等	内容
10	青少年芸術劇場	9月29日 10月末	小学校体育館 中学校体育館	教育委員会 教育研究会 青推協	小学校：9月29日 中学校：9月中旬～10月末
11	青少年非行防止に係る取組	10月予定	公民館	青推協	小中学生、下商高校生対象
12	モミの木クリスマス会	12月中旬	バスターミナル	下子連	小中学生対象
13	北海道子ども会かるた大会 上川地区予選	2月中旬	未定	上子連	子ども会代表選抜
14	キッズスクール	通年	公民館等	教育委員会、 公民館、キッ ズスクール	小学生の体験活動等
15	放課後児童クラブ	通年	町民会館児童室	教育委員会	放課後児童の健全育成
16	青少年健全育成推進協議会	通年	町内	青推協	各種団体活動支援他
17	スポーツ少年団本部	通年	町内	スポーツ少年団本部	5団体 活動支援
18	子ども会育成連絡協議会	通年	町内	下子連	9団体 活動支援
19	「子ども110番の家」設置 者「非行防止マニュアル等 作成」	通年	町内	青推協	令和2年5月1日現在：67箇所
20	青色回転灯 自主パトロー ル	通年	町内	青推協 教育委員会	町内3台
21	小学校総合の授業支援	通年		町内	小学校、教育委員会
22	小学校クラブ活動支援	通年		町内	小学校、教育委員会
23	中学校総合の授業支援	通年		町内	中学校、教育委員会
24	下川商業高等学校課題研究 支援	通年		町内	下川商業高校、教育委員会

③ 成人教育

【推進目標】

○人間として豊かに生き、連帯感を強め住みよい郷土づくりのための地域活動支援と多種多様なニーズに即した学習
機会の提供

事業名		時期	場所	主催等	内容
1	図書館活動支援ボックス (道立図書一括貸出)	5月、10月	道立図書館	公民館	年2回一括貸出(各300冊)
2	除籍本無料配布	8月下旬～9月 中旬	公民館	公民館	3週間開催
3	ブックフェスタ(秋の読書 週間)	10月～11月	図書室ほか	公民館	特別展示コーナー 映画鑑賞会
4	はたちを祝うつどい(仮 称)	1月7日	バスターミナル	教育委員会	
5	マイプラン・マイスタ ディー事業	通年	公民館	実行委員会	年間4事業程度予定
6	公民館講座	未定	公民館ほか	教育委員会	
7	タウンスクール	通年	公民館	公民館	各種講演開催
8	下川町文化協会	通年	公民館ほか	教育委員会	13団体 活動支援
9	町民会館図書室	通年	図書室	公民館	蔵書管理・読書活動推進
10	図書室ボランティア募集	通年	図書室	公民館	事業・運営協力

④ 高齢者教育

【推進目標】

○高齢者が安心した生活を送るための学習機会の提供と地域活動参加による生きがいの創出

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 上川管内高齢者学びのつどい	中止	旭川市	上川教育局	上川管内23市町村による学習発表及び交流
2 四町高齢者大学交流研修会	10月中	剣淵町	4市町教育委員会	和寒町・剣淵町・名寄市風連・下川町の4市町で研修
3 高齢者作品巡回展	2月中旬	上川北部各公民館	上川北部公民館ネットワーク	公民館ロビーにて展示
4 高齢者学級	中止	総合福祉センター他	公民館	中央、上名寄の2学級で学習活動等を実施

⑤ 生涯学習基盤整備

【推進目標】

○いつでも自由に学び、多様化、高度化するニーズに対応できる学習環境の充実のための基盤づくり

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 社会教育団体活動調査	4月～5月	教育委員会	教育委員会	
2 社会教育委員・公民館運営審議会	6月17日 9月 3月	公民館	教育委員会 公民館	年3回開催
3 視聴覚ライブラリー委員会議	6月27日 3月	町民会館図書室	教育委員会	年2回開催
4 道立図書一括借受（再掲）	5月、10月	道立図書館	公民館	年2回一括借受 各300冊
5 教育の概要	7月	町内	教育委員会	関係に配布 ホームページに掲載
6 社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会	11月10・11日	東川町	管内社会教育連合会	
7 文化奨励賞	11月3日	町内	教育委員会	
8 図書室だより	毎月	広報	公民館	新刊案内等
9 公民館だより	通年	公区班回覧	公民館	行事案内等
10 各種ボランティア募集	通年	町内	教育委員会	キッズスクールボランティア 図書ボランティア
11 社会教育関係団体登録	通年	町内	教育委員会	活動支援、助言
12 視聴覚教材購入	通年	図書室	教育委員会	DVD等購入
13 図書購入	通年	図書室	公民館	一般書籍・児童書・雑誌購入
14 AV目録整理	通年	図書室	教育委員会	

II 生涯スポーツ

① 健康スポーツ

【推進目標】

○スポーツを通じた健康づくりと地域に根ざしたスポーツ振興

事業名	期間	場所	主催等	内容
1 森林環境教育「もりさんぽ」	7月～2月	五味温泉体験の森ほか	公民館	森林ウォーキング 7回
2 夏休みプール教室	7～8月	B&G海洋センター	公民館	小学生対象
3 水中健康運動教室	7～8月	B&G海洋センター	公民館	アクアビクス・水中歩行教室
4 町民体力測定	6月13～20日 10月	下川小学校 スポーツセンター	公民館	小学1年生～6年生 高校生以上の町民対象
5 軽スポーツ教室	未定	スポーツセンター ほか	スポーツ推進 委員会	
6 スキージャンプ教室	1月下旬	スキー場	公民館	幼児から一般
7 冬休みスキー教室	1月中	スキー場	公民館	小学生対象 5回
8 スポーツ指導者講習会	未定	公民館	スポーツ推進 委員会	
9 各種軽スポーツ指導	通年	スポーツセンター 等	公民館	各種団体の要望対応

② 競技スポーツ

【推進目標】

○スポーツ団体との連携とノルディックスキー競技の一貫指導体制による競技力の向上

事業名	期間	場所	主催等	内容
1 第34回しもかわ万里長城クロスカントリー大会	中止	桜ヶ丘公園内	教育委員会	
2 第18回万里長城パークゴルフ場オープン記念大会	中止	万里長城パークゴルフ場	町、公民館	
3 第14回公区対抗町民パークゴルフ大会	中止	万里長城パークゴルフ場	公民館	
4 第18回町長杯町民パークゴルフ大会	9月3日	万里長城パークゴルフ場	町、公民館	
5 第38回全道ノルディックスキー競技大会	12月28日	スキー場	教育委員会 下川スキー協会	
6 ジュニアノルディックスキー選手の育成強化	通年		教育委員会	専門指導員2名体制による選手強化
7 スポーツ少年団本部（再掲）	通年	5団体	スポーツ少年 団本部	各種大会活動支援、助言等
8 下川町スポーツ協会	通年	9団体	スポーツ協会	各種大会活動支援、助言等
9 各種社会体育関係団体活動	通年		各種社会体育 団体	各種大会活動支援、助言等

③ スポーツ基盤

【推進目標】

○生涯を通じてスポーツに親しめる環境をつくるための計画的な施設・設備の整備など基盤整備の充実

事業名	期 間	場 所	主催等	内 容
1 スポーツ奨励賞	7月26日	町内	教育委員会	
2 スポーツ推進委員会議	6月28日 9月 3月	公民館	教育委員会	年3回開催
3 スポーツ実技指導	通年		教育委員会	
4 学校体育館開放	通年	下川小・中学校体育館・グラウンド	教育委員会	一般開放
5 指定管理者による体育施設管理	通年	スポーツセンター等	教育委員会	指定管理者による管理・運営

III 芸術文化

① 芸術文化

【推進目標】

○創造性に富み、心豊かな芸術文化を育む地域づくり

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 町民文化祭	10月22日～ 23日予定	公民館他	実行委員会	芸能発表・作品展示等
2 青少年芸術劇場（再掲）	9月29日 10月末	小学校体育館 中学校体育館	教育委員会 教育研究会 青推協	小学校：9月29日 中学校：9月中旬～10月末
3 ふれあいコンサート	未定	公民館大ホール	実行委員会	
4 親子劇場（再掲）	10月中旬	児童室他	教育委員会 公民館 青推協	親子対象
5 北の星座音楽祭	未定	公民館大ホール	実行委員会	隔年開催
6 北の星座音楽祭鑑賞バスツアー	未定		実行委員会	
7 町民芸術文化鑑賞会	未定	公民館大ホール	実行委員会	

② 文化財の保護及び活用

【推進目標】

○地域文化を守り、郷土愛を育む文化財の保護と活用

事業名	時 期	場 所	主催等	内 容
1 ふるさと交流館企画展等	中止	ふるさと交流館	教育委員会	各種企画展開催
2 指定文化財保存等交付金	通年	町内	教育委員会	上名寄郷土芸能保存会
3 文化財収集整理作業	通年	ふるさと交流館	教育委員会	各種郷土資料の収集・整理・保存等

③ 文化基盤

【推進目標】

○生涯学習時代に対応した文化基盤の整備

	事業名	時期	場所	主催等	内容
1	郷土資料展示保存施設	未定	札天山収蔵館	教育委員会	臨時休館中
2	文化財保護審議会	6月1日 3月	公民館	教育委員会	年2回開催
3	ふるさと交流館ボランティア募集	中止		教育委員会	

(2) 令和4年度下川町公民館運営方針

1. 重点目標

- (1) 生涯各期における生活課題や現代的課題に対応した学習機会の提供に努める。
- (2) 生涯学習の視点に立ち、自らが自主的に学習できる環境に努める。
- (3) 生きがいづくりのため、ボランティア活動の推進に努める。
- (4) スポーツの日常生活化を目指し、住民の健康増進、スポーツ愛好者の底辺拡大に努める。
- (5) 児童生徒対象に各種スポーツ教室を行い、スポーツの底辺拡大に努める。
- (6) 地域文化の創造をめざす個性豊かな芸術文化活動の推進に努める。
- (7) 地域の生活文化を創造的に高めるため、団体・サークルの育成に努める。
- (8) 様々な情報媒体を活用した広報活動による、情報の提供に努める。

2. 事業の推進

(1) 公民館活動の充実

- ① 生涯学習活動の拠点として、地域の実態に応じた特色ある活動を積極的に展開する。
- ② 生きがいのある人生を築くため、うるおいのある人づくり、地域づくりを目指す。
- ③ 公民館や各種施設の利用拡大と有効利用を図る。

(2) 学級・教室・講座等の充実

- ① 学習者の主体性が適切に発揮できるように配慮する。
- ② 様々な年齢や性別に対応した学習機会の提供に努める。
- ③ 下川町の特徴を活かした学習機会の提供に努める。
- ④ 家庭教育力向上や生活課題、現代的課題に対応した学習機会の拡充に努める。
- ⑤ 学習等の運営にあたっては、自主的、自発的な運営を推奨する。
- ⑥ 年齢や体力等、様々な運動に親しめる学習機会の拡充に努める。

(3) 地域連帯・生活文化の創造を目指す各種事業

- ① 身近な生活文化を高める諸活動を充実し、文化協会、スポーツ協会等地域関係団体と連携を図り、心の豊さを求める事業を推進する。
- ② 家庭・地域・学校との連携・協力を図り、地域で子どもを育てる意識が高まるよう努める。

(4) 町民会館図書室活動の充実

- ① 読書に親しむ生活習慣を乳幼児期から育成する。
- ② 利用しやすい図書室を目指し、書籍、視聴覚教材、図書情報の収集、託児室等の整備を図る。
- ③ 読み聞かせグループの育成や読書機会の拡充に努める。
- ④ 読書週間の実施による利用者の拡充に努める。

(5) 自主運営グループの育成

- ① 自主企画事業に対する相談・奨励や公民館講座終了後のサークル化支援に努める。
- ② 文化、スポーツサークルの自立化を支援し、文化協会、スポーツ協会への参加を推進する。

(6) 調査・広報活動

- ① 様々な媒体を活用した広報活動を推進し、住民に情報を提供する。
- ② 公民館の運営のあり方や事業の展開方法について、地域住民の意見や要望を積極的に取り入れる。

(7) 公民館運営審議会

- ① 地域住民の動向や学習要求、地域の課題等、幅広く情報収集にあたる。
- ② 公民館が行う住民の教育、芸術及び文化向上のための各種事業企画について審議する。

(3) 社会教育関係各種委員の状況

①下川町社会教育委員及び

下川町公民館運営審議会委員

区分	氏名	選考区分
委員長	近藤正治	学識経験者
副委員長	桑内寿則	学校教育関係者
委員	井川健	学校教育関係者
"	島瀬展成	学校教育関係者
"	品地和彦	社会教育関係者
"	森清次	社会教育関係者
"	西村義和	学識経験者
"	名畑格	学識経験者
"	長尾綾	学識経験者
"	瀬川聖子	家庭教育関係者

任期：R4. 4. 1～R6. 3. 31

③下川町文化財保護審議会委員

区分	氏名
会長	森清次
副会長	名畑格
委員	矢筈原豊
"	上ヶ島吉夫
"	小原久典

任期：R4. 4. 1～R6. 3. 31

②下川町スポーツ推進委員

区分	氏名	所属等
委員長	鎌田國仁	野球、サッカー
副委員長	高橋和之	ソフトボール
委員	津志田志保	バドミントン、水泳
"	宮本桂	バスケットボール
"	小峰早智	水泳、地域スポーツ
"	弓野直美	テニス、地域スポーツ
"	遠藤和之	スキージャンプ
"	中嶋崇喜	スキー、水泳
"	野崎晃史	剣道
"	塚辺礼奈	水泳
"	河村奈央子	登山、水泳
"	尾形明日翔	野球

任期：R4. 4. 1～R6. 3. 31

④下川町視聴覚ライブラリー委員

区分	氏名
会長	奥崎裕子
副会長	佐藤飛鳥
委員	遠藤裕美
"	藤原祐輔
"	矢野圭子
"	高木千世
"	伊藤蘭
"	大西克典
"	谷口雄太
"	宮田桃伽

任期：R4. 4. 1～R6. 3. 31

⑤下川町町民会館児童室運営委員及び放課後子どもプラン運営委員

区分	氏名	所属等
会長	矢内啓太	小学校PTA会長
副会長	未定	児童クラブ保護者代表
委員	佐藤仁彦	小学校教頭
〃	神谷智美	児童クラブ厚生員
〃	山崎春日	民生委員児童委員協議会主任児童員
〃	押田すみえ	民生委員児童委員協議会主任児童員
〃	白石一恵	保健福祉課主幹
〃	渡邊匡子	子ども会育成連絡協議会会長
〃	大石陽介	認定こども園保護者代表
〃	塚辺礼奈	キッズスクール指導員

任 期 : 委嘱時より ~ R5. 3. 31

(4) 令和4年度 社会教育関係団体の状況

①各種団体連合会等

名 称	代表者名	事務局（名）	会 員 数
下川町父母と先生の会連合会	加 藤 準	立 花 武 人	190
下川町文化協会	杉之下 正樹	多 田 淳 浩	150
下川町子ども会育成連絡協議会	渡 邊 匡 子	教育委員会教育課	221
下川町スポーツ協会	蓑 谷 春 之	栗 原 一 清	241
下川町スポーツ少年団本部	蓑 谷 春 之	栗 原 一 清	141
下川町青少年健全育成推進協議会	川 島 政 吉	寺 西 健 二	35

1) 下川町父母と先生の会連合会

会 長	加 藤 準	事務局長	立 花 武 人
副会長	矢 内 啓 太	庶 務	芳 賀 秀 樹
”	井 川 健	会 計	高 橋 哲 郎

加盟PTA団体

名 称	代 表 者	会 員 数	備 考
下川小学校PTA	矢 内 啓 太	111	
下川中学校PTA	加 藤 準	79	
計	2団体	190	

2) 下川町文化協会

会 長	杉之下 正樹	事務局長	多 田 淳 浩
副会長	森 清 次	会 計	多 田 淳 浩
”	武 藤 久 志		

加盟文化サークル

区 分	サークル名	代 表 者	事務局（名）	会 員 数
絵 画	下川柏葉会	萬比呂比古	多 田 淳 浩	10
木 工 芸	工房北創	倉橋三千雄	安藤 勇	10
書 道	下川書道愛好会	千葉 則男	千葉 則男	8
舞 踊	上名寄郷土芸能保存会	黒川 仁一	黒川 仁一	40
大 正 琴	下川大正琴愛好会	佐々木光子	木村 玉江	8
民 謡	下川成友会	小田切一逸	板橋 太郎	2
歌 謡	下川歌謡研究会	武藤 久志	武藤 久志	15

歌謡	下川カラオケ愛好会	関谷 芳秀	関谷 芳秀	13
陶芸	下川陶芸愛好会竜胆	岡崎 哲子	小野 春恵	7
囲碁	下川囲碁同好会	坪田 篤雄	河端 正敏	11
太鼓	下川溪流太鼓	矢内 辰二	押田すみえ	17
写真	ニッコールクラブ道北支部下川	森 清次	森 清次	9
計	12団体			150

3) 子ども会育成連絡協議会

会長 渡邊 匡子 事務局 下川町教育委員会教育課
副会長 勝元 尚子

加盟子ども会

区域名	名称	子ども育成会		子供会 会員数	合計 会員数
		会長名	会員数		
上名寄	上名寄連合子供会	渡邊 匡子	8	6	14
中成北・元町公区	中成北・元町子ども会	勝元 尚子	4	23	27
中成南公区	中成南子ども会	橋本 千尋	3	31	34
北町・幸町・共栄町公区	北町・幸町・共栄町子ども会	折原末利馨	2	20	22
錦町公区	錦町公区子ども会	河野 史乃	2	32	34
旭町公区	旭町あけぼの子供会	山本 江里	2	20	22
緑町・三和・一の橋・二の橋公区	緑町・ひふみ橋子供会	栢田ともみ	0	19	19
末広公区	末広青空子ども会	平田 美和	4	35	39
新町・班溪公区	新町・班溪子ども会	睦良田まい子	5	5	10
	9団体		30	191	221

4) 下川町スポーツ協会

会長 蓑谷春之 事務局長 栗原一清
副会長 仁木茂則 事務局次長 伊藤克彦

加盟体育団体

種目	団体名	会長	事務局(名)	会員数
野球	下川軟式野球連盟	丹野重男	塩田晃久	33
柔道	下川柔道連盟	山下邦廣	南澤茂	13
剣道	下川剣道連盟	小原強	小原美紀子	11
山岳	下川山岳会	加集賢一	堀北忠克	41
ソフトテニス	下川ソフトテニス協会	市村茂雄	弓野直美	19
スキー	下川スキー協会	押田真	堀北忠克	18
バドミントン	下川バドミントンクラブ	仁木茂則	平木達也	18
パークゴルフ	下川町パークゴルフ協会	伊東時晴	武藤久志	61
スポーツライミング	下川スポーツライミングクラブ	荻谷勝利	斎藤丈寛	27
計	9団体			241

5) 下川町スポーツ少年団本部

本部長 蓑谷春之 事務局 栗原一清

加盟スポーツ少年団

種目	団体名	少年団		後援会・育成会		合計人数
		団長名	団員数	会長名	会員数	
剣道	下川剣道スポーツ少年団	大西悠斗	15	平田豊和	9	24
柔道	下川柔道スポーツ少年団	三浦かりん	15	南澤さつき	17	32
野球	下川野球少年団	佐藤大翔	13	平野好宏	5	18
スキー	下川ジャンプ少年団	長谷川芽依	8	菊池崇史	13	21
サッカー	下川サッカー少年団	清水陽	27	渡辺鮎美	19	46
計	5団体		78		63	141

②その他社会教育関係団体

名 称	代 表 者	事務局 (名)	会 員 数
シルバーアートの会	末 武 久 恵	本 田 久 美	6
下川自然を考える会		早 田 史 朗	28
下川英会話愛好会	日 野 昭 雄	山 下 節 子	9
下川ジャンプスキー選手後援会	蓑 谷 春 之	堀 北 忠 克	185
下川商業高等学校PTA	津 志 田 大	萬 年 史 章	109
NPO 法人森の生活	麻 生 翼	児 玉 こ ず え	25
Join The Heart	富 岡 達 彦	竹 本 礼 子	18
下川木彫匠会		遠 藤 里 美	4
子育てクラブカナカナ	瀬 川 聖 子	瀬 川 聖 子	20
こども運動サークル「しもかわっこ」	庄 子 幸 恵	矢 内 千 枝	22
下川スキーパトロール奉仕団	押 田 真	横 井 雅 江	7
下川軽スポーツ愛好会	加 集 賢 一	福 島 勇 二	18
ステップアップ	千 葉 真 由 美	竹 本 礼 子	35
下川インドアゴルフ愛好会	西 島 勲	矢 島 信 義	23
下川クロスカントリースキー少年団	加 藤 準	加 藤 準	4
下川りくらしネット	田 中 由 紀 子	田 中 由 紀 子	18
高齢者元気会	高 橋 水 哉		27
計	17 団体		558

(5)下川町の文化財

◎無形文化財第1号 「上名寄郷土芸能」

(麦や節・郡上節・こだいじん)

- ・指定年月日 昭和39年10月14日
- ・伝承者 上名寄郷土芸能保存会
(会長 黒川 仁一)

・伝承経過

明治34年に岐阜県郡上郡高鷲村(現郡上市)から上名寄地区に入植した開拓者が、開拓の苦しみの中で故郷を偲び、唄い踊られ今日まで伝えられてきたものである。

昭和39年9月6日に、これを永く後世に残すため保存会が発足し、以来保存に努め現在にいたっている。

・発祥地

「麦や節」 富山県五箇山(富山県東砺波郡)

「郡上節」 岐阜県郡上市

「こだいじん」 富山県五箇山(富山県東砺波郡)

・由来

・麦や節… 五箇山は平家の落人が身をしのばせたところといわれ、歌詞の中にもなにかしら人目をはばかる落武者の心情をうたわれている感があるところから、平家踊りとも言われる。

・郡上節… 郡上踊りともいい、郡上郡八幡町(現郡上市)の盆踊りの唄である。八幡町は長良川の上流盆地にある旧青山氏4万8千石の城下町で、青山氏は官民和合のために盆踊りを奨励したが、それがこの踊りの始まりといわれている。

・こだいじん… 富山県五箇山には数多くの民謡が温存されており、その中にこだいじんとして仕事をしながら気やすく唄われ、踊られたものと伝えられている。

◎天然記念物第1号 「はるにれ」

- ・所在地 下川町西町40番地(小学校校庭)
- ・指定年月日 昭和39年10月14日
- ・管理者 下川小学校
- ・由来

樹齢約830年(直径約136cm、樹高約23m)と推計され、下川簡易教育所(明治40年12月建設)の前に切り残されたもので、現在町立下川小学校校舎前にそびえている。

昭和43年9月に北海道100年記念事業の名木・美木の選定にも名木として選定された。

さらに、昭和49年3月30日付で、北海道自然保護条例に基づき、下川小学校開校記念保護木としても指定されている。

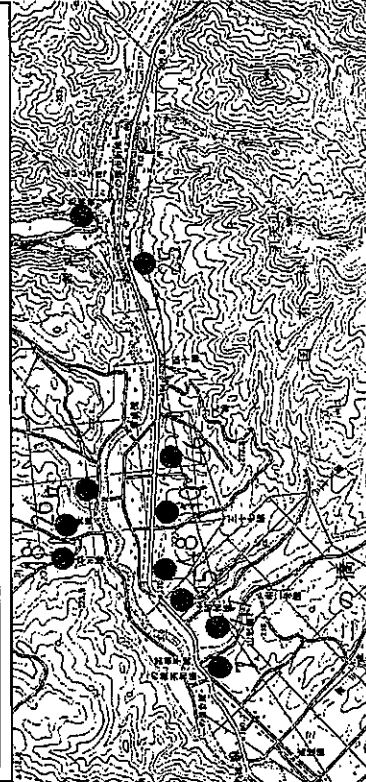
◎天然記念物第2号 「下川鳴る石」

- ・所在地 下川町珊瑚
(国有林下川事業区34林班)
- ・指定年月日 昭和57年12月10日
- ・管理者 上川北部森林管理署
- ・由来

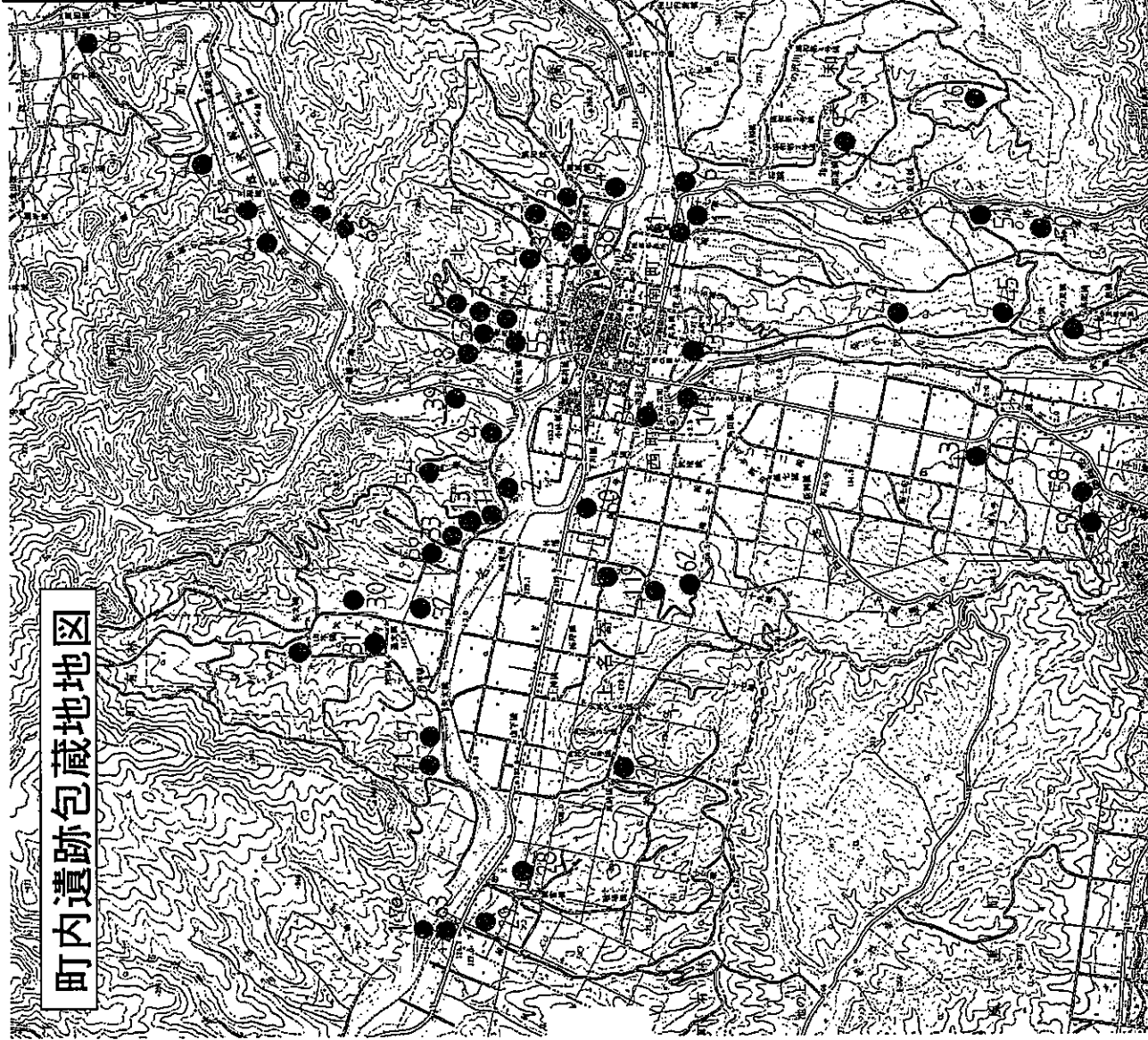
新第三紀中新世紀(2,500万年前~1,000万年前)の火山噴火物で、サンル溶岩といわれる流紋岩の球礫であって、直径が数ミリメートルから数センチメートルのものが多く、手にとって振ると「サラサラ」と音を発する。空洞内に晶出している石英が剥離して音を出す。

町内遺跡包蔵地図

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
1	上名寄チャン跡	11	北町C遺跡	21	矢文1遺跡
2	佐藤遺跡	12	シカリリベツ遺跡	22	北町高原遺跡
3	北町遺跡	13	川向遺跡	23	北町伊藤遺跡
4	高橋遺跡	14	桜ヶ丘遺跡	24	浄水場下遺跡
5	モサンル遺跡	15	二の橋2遺跡	25	松岡遺跡
6	浅野遺跡	16	溪和遺跡	26	幸成2遺跡
7	二の橋遺跡	17	三の橋遺跡	27	矢文2遺跡
8	北町B遺跡	18	ルベA遺跡	28	上名寄1遺跡
9	ペンケ遺跡	19	上ヶ島遺跡	29	上名寄2遺跡
10	幸成遺跡	20	武石遺跡	30	矢文3遺跡



No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
31	矢文4遺跡	46	幸成3遺跡	61	三の橋5遺跡
32	矢文5遺跡	47	二の橋3遺跡	62	上名寄6遺跡
33	川向2遺跡	48	二の橋4遺跡	63	上名寄7遺跡
34	桜ヶ丘A遺跡	49	三の橋4遺跡	64	前サンル1遺跡
35	南町遺跡	50	ペンケ2遺跡	65	前サンル2遺跡
36	三の橋2遺跡	51	ペンケ3遺跡	66	サンル11線遺跡
37	三の橋3遺跡	52	北町F遺跡	67	サンル5線遺跡
38	北町D遺跡	53	北町G遺跡	68	サンル4線遺跡
39	北町E遺跡	54	北町H遺跡	69	北町J遺跡
40	瑠璃川向遺跡	55	北町I遺跡	70	上名寄8遺跡
41	上名寄3遺跡	56	上名寄4遺跡		
42	桑の沢1遺跡	57	上名寄5遺跡		
43	班溪1遺跡	58	班溪2遺跡		
44	桑の沢2遺跡	59	班溪3遺跡		
45	桑の沢3遺跡	60	西町1遺跡		



(6)下川町社会教育関係表彰状況

①旧表彰規則による表彰者

年度	区分	受賞者名
昭和 32	教	安藤 操
昭和 33	教	土屋直太郎
昭和 34	教	村上 美代
昭和 38	教	伊東 美勝 佐藤 富喜
昭和 39	文	井上 文山 下川柏葉会
	ス	村上 良雄 石川 政勝
昭和 40	教	平 恵美
	文	大山 泉雪
昭和 50	教	柴田 英一
昭和 53	教	窪田 銀治 佐藤 定行
	文	稲村 頌山
昭和 56	ス	佐々木 周一 石川 政勝

※教：教育文化功績表彰、文：文化賞、
ス：スポーツ賞

②下川町文化賞

年度	受賞者名	備 考
昭和 57	佐藤 定行	文化協会長
	狭布里 哲也	体育協会長、柔道連盟、スキー協会設立
昭和 58	山口 昂	学校医として健康づくり
	石川 政勝	剣道
昭和 60	井上 キミエ	茶道、華道
平成元	川原 悠山	尺八・音楽振興
	上名寄郷土保存会	保存・伝承
平成 7	中内 伊勢吉	文化財
平成 13	谷 静子	茶道
平成 14	本田 榮太郎	文化協会長
平成 16	文梨 政幸	詩作
平成 20	西野 徳義	写真
平成 28	田端 英雄	書道
平成 30	武藤 ミエ	短歌

③下川町特別町民栄誉賞

年度	受賞者名	備 考
平成 26	葛西 紀明	ソチ冬季オリンピックスキージャンプ個人ラージヒル銀メダル、団体銅メダル

④下川町町民栄誉賞

年度	受賞者名	備 考
平成 7	岡部 孝信	'95 ノルディックスキー世界選手権サンダーベイ大会ジャンプノーマルヒル個人金メダル、団体銅メダル

平成 14	葛西 紀明	アルペールビル・リレハンメル・長野・ソルトレーク冬季オリンピックスキージャンプ 4 大会連続出場
平成 26	伊東 大貴	ソチ冬季オリンピックスキージャンプ団体銅メダル
平成 27	伊藤 有希	'15 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ個人戦銀メダル、ジャンプ混合団体銅メダル

⑤下川町特別スポーツ功労賞

年度	受賞者名	備 考
平成 18	岡部 孝信	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ団体第 6 位、ラージヒル第 8 位
	葛西 紀明	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ団体第 6 位、冬季オリンピック 5 大会連続出場
平成 19	岡部 孝信	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会スキージャンプ団体銅メダル
	葛西 紀明	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会スキージャンプ団体銅メダル
平成 21	岡部 孝信	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ団体銅メダル
	葛西 紀明	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ団体銅メダル
	伊東 大貴	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ団体銅メダル
平成 22	岡部 孝信	バンクーバー冬季オリンピック日本選手団主将を務める。
平成 22	葛西 紀明	バンクーバー冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第 5 位、個人第 8 位、冬季オリンピック 6 大会連続出場
	伊東 大貴	バンクーバー冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第 5 位
平成 27	葛西 紀明	'15 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ混合団体銅メダル

平成 28	葛西 紀明	スキーワールドカップ通算 500 試合参戦
平成 29	葛西 紀明	世界選手権最多・最年長出場、ワールドカップ最年長表彰台
	伊東 大貴	'17 ノルデックスキー世界選手権ラハティ大会ジャンプ混合団体銅メダル
	伊藤 有希	'17 ノルデックスキー世界選手権ラハティ大会ジャンプ女子ノーマルヒル銀メダル、混合団体銅メダル
平成 30	葛西 紀明	平昌冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第6位、冬季オリンピック最多 8 大会連続出場、ワールドカップ最多出場
	伊東 大貴	平昌冬季オリンピックオリンピックスキージャンプ団体第6位、冬季オリンピック 4 大会連続出場
令和 1	葛西 紀明	スキーワールドカップ最年長及び最多出場 566 試合
	伊東 大貴	'19 ノルディックスキー世界選手権大会ジャンプ団体銅メダル
令和 2	葛西 紀明	スキーワールドカップ最年長及び最多出場 569 試合
令和 4	伊藤 有希	北京冬季オリンピックスキージャンプの混合団体戦 4 位、ワールドカップ個人戦 3 位入賞

⑥下川町スポーツ功労賞

年度	受賞者名	備考
平成 10	岡部 孝信	長野冬季オリンピックスキージャンプ団体金メダル、ラージヒル第 6 位
平成 30	伊藤 有希	平昌冬季オリンピックオリンピックスキージャンプノーマルヒル第 9 位、冬季オリンピック 2 大会連続出場、ワールドカップ表彰台 3 回

令和 1	伊藤 有希	'19 ノルディックスキー世界選手権大会ジャンプ団体第 6 位、男女混合団体第 5 位
令和 3	伊藤 有希	'21 ノルディックスキー世界選手権大会ジャンプ団体第 4 位、男女混合団体第 5 位
	佐藤 慧一	'21 ノルディックスキー世界選手権大会ジャンプ団体第 4 位
令和 4	伊東 大貴	北京冬季オリンピックで 5 度目の日本代表選手に選出

⑦下川町特別スポーツ栄誉賞

年度	受賞者名	備考
平成 10	葛西 紀明	長野冬季オリンピックスキージャンプノーマルヒル第 7 位
平成 19	伊東 大貴	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会ジャンプ団体銅メダル
平成 22	加藤 大平	バンクーバー冬季オリンピックオリンピックスキークンパインド団体第 6 位
平成 26	伊藤 有希	ソチ冬季オリンピックスキージャンプ女子ノーマルヒル 7 位
令和 2	佐藤 慧一	'20 コンチネンタルカップ個人優勝、サマーグランプリ団体優勝

⑧下川町スポーツ栄誉賞

年度	受賞者名	備考
平成 5	岡部 孝信	リレハンメル冬季オリンピックスキージャンプ団体銀メダル、ラージヒル第 4 位
	葛西 紀明	リレハンメル冬季オリンピックスキージャンプ団体銀メダル、ノーマルヒル第 5 位
平成 18	伊東 大貴	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ団体第 6 位
平成 19	伊藤 謙司郎	'07 ノルデックスキー世界選手権札幌大会ジャンプ代表選手
平成 21	加藤 大平	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキークンパインド団体金メダル

平成 25	伊東 大貴	'13 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ混合団体金メダル
	伊藤 有希	'13 ノルデックスキー世界選手権大会ジャンプ混合団体金メダル
令和 2	伊東 大貴	'20 ワールドカップ団体銀メダル
	伊藤 有希	'20 ワールドカップ団体銀メダル
令和 4	佐藤 慧一	'22 ワールドカップ団体銀メダル

⑨下川町スポーツ貢献賞

年度	受賞者名	備考
平成 7	伊藤 直人	'95 ノルディックスキー世界選手権サンダーベイ大会ジャンプ代表選手
平成 18	伊藤 謙司郎	トリノ冬季オリンピックスキージャンプ最年少代表選手
平成 18	伊藤 有希	'07 コンチネンタルカップレディース 札幌大会スキージャンプ銅メダル
平成 21	伊藤 有希	'09 ノルデックスキー世界選手権大会スキージャンプ競技に冬季種目最年少選手として出場
平成 29	伊藤 将充	'17ジュニア世界選手権アメリカ大会男女混合団体銅メダル
	瀬川 美美佳	'17ジュニア世界選手権アメリカ大会男女混合団体銅メダル
令和 2	工藤 漱太	'20ユースオリンピック男女混合団体銀メダル
令和 4	津志田 雛	'22ジュニア世界選手権ポーランド大会女子団体銀メダル
	中山 和	'22ジュニア世界選手権ポーランド大会女子団体銀メダル、'22FisCup個人戦銀メダル

⑩下川町文化奨励賞

年度	受賞者名	備考
昭和 47	稲村 頌山	邦楽(尺八)
昭和 53	田宮 冠雪	書道

昭和 58	すえひろ会	民謡舞踊
	谷 静子	茶道
	西野 徳義	写真
昭和 60	文梨 政幸	詩作
	林 金雄	短歌
	日野 昭雄	写真
昭和 61	佐藤 宏彦	美術
昭和 62	谷口 富子	短歌
昭和 63	本田 榮太郎	絵画
平成 2	佐藤 きよ子	華道
	中内 伊勢吉	文化財
平成 3	高島 菊次	木彫
平成 6	武藤 美枝	短歌
	林 貞子	婦人団体育成
平成 9	小林 清一郎	詩吟
	前田 一	社交ダンス・邦楽
平成 10	小原 義夫	木工芸
平成 11	古屋 恵美子	郷土芸能
	神田 久	民謡
平成 12	栗原 導子	三味線
	伊藤 ノエ	詩吟
平成 15	川岡 政喜	詩吟
	宮田 由三	カラオケ
平成 16	都 要	カラオケ
	及川 幸雄	絵画
平成 17	押田 キヨミ	短歌
平成 19	尾藤 テル子	民謡・三味線
平成 20	三賀 定喜	民謡・三味線
平成 21	武藤 登	詩吟
	児玉 光	チェンソーアート
平成 22	市村 桂子	絵画
平成 24	倉橋 三千雄	木工芸
	柳澤 美晴	短歌
平成 25	高山 トミ子	短歌
平成 26	金子 淑子	書道
平成 27	西村 道子	絵画
平成 28	千葉 芳男	歌謡
	藤原 重雄	歌謡
平成 30	西野 道子	茶道
令和 1	鈴木 牛後	俳句
	平間 終	簿記コンクール
令和 2	立花 日葉梨	ピアノ

⑪下川町スポーツ奨励賞

年度	受賞者名	備考
昭和 45	山川 久四郎	スキー
	西崎 信光	卓球
昭和 47	藤原 喜代蔵	相撲
	三菱金属鋳業所庭球部	庭球

昭和 57	大西 義信	相撲
	藤木 豊	相撲
	藤原 一行	相撲
	安澤 雄吉	相撲
	田中 良一	相撲
	稲森 芳春	相撲
	苅谷 勝利	登山
	遠藤 幸枝	陸上
	西野 道子	陸上
	伊東 時晴	スキー
昭和 58	西村 儀男	野球
	森 茂	野球
	小南 力蔵	陸上
	猪股 俊孝	柔道
昭和 59	武藤 登	剣道
	今 ひろ子	陸上
昭和 60	伊藤 克彦	スキー
	佐々木 孝元	スキー
昭和 60	伊藤 直人	スキー
	岡部 孝信	スキー
昭和 61	渡辺 清	野球
	寺澤 義晴	卓球
	山下 邦廣	柔道
	小原 強	剣道
昭和 62	前田 一	野球
	杉之下 悟	柔道
	金澤 博	登山
	森 義幸	スノーモービル
	葛西 紀明	スキー
昭和 63	豊福 九州男	剣道
	佐藤 実	バレーボール
	阿部 正司	スキー
	高原 大	柔道
平成元	吉田 伸男	陸上
	遠藤 和之	少林寺拳法
平成 2	下川ゲート ボール協会	ゲートボール
	蓑谷 秀之	スキー
	北村 洋司	スキー
	山崎 克也	スキー
	白川 索	スキー
	安澤 豊	スキー
平成 3	小原 幸	陸上
	中西 日出男	地域スポーツ
平成 4	蓑谷 春之	スキー
	小林 弘見	スキー
	岡部 弘	スキー
	堺 修一	地域スポーツ
平成 5	西島 勲	地域スポーツ
	蓑谷 富之	ゲートボール
平成 6	伊藤 恒	スキー
	佐原 裕	スキー
平成 6	岡村 知博	スキー
平成 7	布施 昇	スキー
	藤木 聡	庭球
平成 8	遠藤 清	ソフトボール
	蓑谷 省吾	スキー
	山本 三喜男	ソフトボール
平成 9	佐藤 正義	登山
	高沼 秀雄	柔道
	三島 満江	陸上
平成 10	道原 幸雄	卓球
	山本 博隆	地域スポーツ
	津川 博美	野球
平成 11	川島 光義	陸上競技
	渋谷 敬吉	スキー
	石川 征男	スキー
	西村 道子	スキー
平成 11	亀田 正友	パークゴルフ
	日下 伸子	卓球
平成 15	道原 伸也	バレーボール
	山本 弘明	ソフトボール
	加茂 清	登山
平成 19	野崎 政一	ソフトボール
	池田 勉	軟式野球
	福田 勝芳	軟式野球
平成 23	加藤 貢	ソフトボール
	加集 賢一	登山
平成 25	小原 美紀子	剣道
	南澤 茂	柔道
平成 27	加藤 準	陸上
平成 28	神田 邦枝	パークゴルフ
	杉之下美津子	パークゴルフ
	伊井 弘	パークゴルフ
平成 29	勢藤 理桜	スキー
	鴨田 鮎華	スキー
	伊藤 浅子	剣道
令和 1	久末 雅輝	フットサル
	松岡 陽奈	剣道
	江口 莉都	剣道
	穴戸 仁美	剣道
	堀川 結衣	剣道
	松岡 杏奈	剣道
	佐藤 希愛	剣道
	木幡 斗吾	柔道
	鴨田 颯人	柔道
	駒津 太珂	トランポリン
令和 2	日下 瑠基	スキー
	中山 和	スキー
	蓑谷 常夫	パークゴルフ
令和 3	川崎 忠雄	パークゴルフ
	弓野 華緒	スキー
令和 3	津志田 雛	スキー

令和 3	池田 光希	スキー
令和 4	佐藤 虹斗	スキー
	西田 蓮太郎	スキー
	齋藤 優	スキー
	岩崎 里胡	スキー
	杉山 律太	スキー